

2023年6月9日

## グリーンボンドの発行条件決定について

この度、当社は、新たに発行する公募社債「グリーンボンド」の条件を、下記のとおり決定いたしましたのでお知らせします。

これによる調達資金は、当社グループが「JR貨物グループ長期ビジョン2030」に掲げる「グリーン社会の実現」や「物流生産性の向上」の取組みの中で、2022年2月に策定したグリーンボンド・フレームワークに則り、環境改善効果の高いプロジェクトに充当されます。

当社グループは、将来につながる成長・戦略投資を積極的に推進し、貨物鉄道輸送が持つ環境特性と労働生産性に優れた輸送モードとしての特性を最大限発揮することで、2050年カーボンニュートラルやSDGsの実現に貢献します。

### 1. 発行条件決定日

2023年6月9日

### 2. 発行概要

社債名称	日本貨物鉄道株式会社第3回社債 (一般担保付) (グリーンボンド)	日本貨物鉄道株式会社第4回社債 (一般担保付) (グリーンボンド)
発行年限	10年	20年
発行総額	50億円	50億円
利率	年 0.761%	年 1.370%
払込期日	2023年6月15日	2023年6月15日
償還期限	2033年6月15日	2043年6月15日
資金使途	機関車新製、鉄道施設の老朽取替、仙台貨物ターミナル駅移転工事にかかる設備資金及び東京レールゲート EAST にかかるリファイナンス資金	
主幹事証券会社	野村証券株式会社 (事務主幹事) みずほ証券株式会社、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	
第三者評価機関	株式会社日本格付研究所 (JCR)	
社債格付	株式会社格付投資情報センター (R&I) 株式会社日本格付研究所 (JCR)	AA- AA

### 3. 資金使途について

当社は、全国をつなぐ幹線物流鉄道ネットワークの強靱化と貨物駅の物流結節点機能の強化を推進しており、本グリーンボンドにて調達した資金は、主に以下の施策及びリファイナンス資金に充当いたします。

#### ■機関車新製

機関車を新製し、老朽化した旧形式機関車からの置換えを行うことで、故障の発生を予防し、安定輸送を確保するとともに貨物輸送サービスの向上を図ります。



導入車両：EF210 形式直流電気機関車「ECO-POWER 桃太郎」  
(主な運行線区 東北線、高崎線、東海道線、山陽線、予讃線)

#### ■東京レールゲート EAST の建設（リファイナンス資金）

2022年7月に竣工した「東京レールゲート EAST」の稼働により、ご入居テナントに対する集荷・配達・保管・荷役・梱包・流通加工等の一貫した物流サービスを提供します。

なお、「東京レールゲート EAST」は、BELS（建築物省エネルギー性能表示制度）において☆☆☆☆評価を取得したほか、CASBEE（建築環境総合性能評価システム）の A ランクを取得しております。



東京レールゲート EAST（外観）

(参考)

- ・グリーンボンドについて

当社ホームページの「グリーンボンド」ページも併せてご覧下さい。

[https://www.jrfreight.co.jp/ir\\_sustainability/greenbond](https://www.jrfreight.co.jp/ir_sustainability/greenbond)